

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月1日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	弘前市	代表者名	櫻田 宏
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0172-40-0631
担当者役職	主事	担当者氏名	田澤 亮輔
住所	036-8551 青森県弘前市大字上白銀町1番地1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	11月27日に(株)まちなかキャンパス、学校法人柴田学園、弘前市の共催により生活創生カレッジvol.2『地域で育てる次世代人材～地域課題解決を担うデジタル人材とは～』を開催した。森戸氏にはイベント内でご講演をいただき、市職員、企業、教育機関関係者、学生、市民などの方が参加する中で、行政、教育・保育等の様々な分野のデジタル化に対するアドバイス、ご助言をいただき盛況のうちにイベントを終了することができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年11月27日	15時00分	18時00分		180
3-2. 派遣場所	会場名	学校法人柴田学園短期大学部		最寄駅	弘前駅
	所在地	青森県弘前市上瓦ヶ町25		最寄駅からの交通手段	バス
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市職員、企業、教育機関関係者、学生、市民等	62人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	地域全体及び行政においても、デジタル化に対する意識及び人材が不足している。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	講演会やアドバイスを通じて、デジタル化の意識啓発や次世代のデジタル社会を担う人材の育成、地域をデジタル技術を活用して弘前に移住したい、観光したいと思えるようなまちづくり	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 講演のテーマ決め及びイベント内で行ったパネルディスカッションのテーマ決め 講演会の実施 テーマ『地域で育てる次世代人材～地域課題解決を担うデジタル人材とは～』 パネルディスカッションのパネリストとして参加 テーマ『若者にもよそ者にもモテる弘前になるために』 	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	イベントには行政、教育・保育、民間企業、学生等様々な分野の方が参加し、森戸氏にはそれぞれの分野におけるデジタル化への意識醸成に繋がるアドバイスをいただき、デジタル人材(デジタルをどのように使うかをわかっている人)の育成を進めることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



